

3. 事業報告書

事業報告書

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（1）農作物共済関係

（引 受）

年産	共済目的等		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和2 年産	水稻	一筆方式	人 22,579	a 1,692,479.8	円 10,416,292,021	円 19,963,109	円	円
		半相殺方式	231	21,252.2	150,437,780	524,793		
		全相殺方式	6	881.4	6,732,204	29,391		
		品質方式	25	2,071.3	17,346,655	133,838		
		地域インデックス方式	71	7,187.8	61,614,636	46,760		
		計	22,912	1,723,872.5	10,652,423,296	20,697,891	18,112,140	38,810,031
	麦	一筆方式	68	31,505.9	78,858,938	1,281,019		
		半相殺方式	4	538.9	1,075,975	8,536		
		災害収入共済方式	48	162,495.4	646,018,398	20,732,863		
		地域インデックス方式	1	57.9	214,650	45		
		計	121	194,598.1	726,167,961	22,022,463	14,412,869	36,435,332
	合計		延 23,033	1,918,470.6	11,378,591,257	42,720,354	32,525,009	75,245,363
			実 22,575					
令和3 年産	麦	一筆方式	75	35,216.3	102,824,069	1,662,906		
		半相殺方式	3	577.9	1,388,386	10,025		
		災害収入共済方式	35	150,684.2	684,554,309	20,850,494		
		地域インデックス方式	1	57.9	246,132	52		
		計	114	186,536.3	789,012,896	22,523,477	14,833,223	37,356,700

（参考）

共済目的	事 項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
水稻	前年度対比 (%)	106.6	101.4	106.7	107.1	106.2	106.7
	事業計画対比 (%)		88.2	96.1	96.5	119.9	101.7
麦（令和3年産）	前年度対比 (%)	94.2	95.9	108.7	102.3	102.9	102.5
	事業計画対比 (%)		77.1	91.9	89.8	129.9	102.4

引受の概況

- 【水稻】 任意加入制以降2年目となった本年は加入推進に全支所で取り組み、引受実戸数が22,465戸となり、引受面積は1,723,872.5aで前年対比101.4%(24,077.9a増)と増加した。
- 【麦】 （令和3年産）
引受実戸数は108戸で、前年対比2戸減少し、引受面積は186,536.3aで前年対比8,061.8a減少であった。

(被 害)

年産	共済目的等		被害組員数	共済金	共済金 共済金額
令和2年産	水稻	一筆方式	人 2,460	円 189,761,844	% 1.82
		半相殺方式	33	2,196,271	1.46
		全相殺方式	1	110,349	1.64
		品質方式	7	408,349	2.35
		地域インデックス方式	3	56,364	0.09
		計	2,504	192,533,177	1.81
	麦	一筆方式	9	372,139	0.47
		半相殺方式	0	0	-
		災害収入共済方式	2	3,437,716	0.53
		地域インデックス方式	0	0	-
		計	11	3,809,855	0.52
	合計		2,515	196,343,032	1.73

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
水稻	前年度対比 (%)	207.5	250.3
	1組員当たり (円)		76,890

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
麦	前年度対比 (%)	137.5	939.7
	1組員当たり (円)		346,350

被害の概況

- 【水稻】 前年に引き続き、県中南部の中晩生品種を中心にトビイロウンカによる被害が発生した。また、梅雨明けが遅れた影響等によりいもち病が発生した。さらに、山間部を中心にイノシシによる踏み荒らし、県南部の移植田におけるスクミリンゴガイによる食害が発生した。
- 【麦】 12月～1月及び3月に断続的な降雨があったことにより、土壌の過湿状態が続いたため、分けつ不足となり収量が低下した。また、災害収入共済方式において、4月及び5月の断続的な降雨により倒伏が発生し、登熟が遅れ、一部地域で大幅な減収及び品質の低下となった。

(支 払)

年産	共済目的等		支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
令和2年産	水稻	一筆方式	12月 21日	円 189,761,844	円	円	円	円	円	%
		半相殺方式	12月 21日	2,196,271						
		全相殺方式	2月 26日	110,349						
		品質方式	2月 26日	408,349						
		地域インデックス方式	2月 26日	56,364						
		計		192,533,177	0	38,810,031	153,723,146	0	0	100.0
	麦	一筆方式	8月 25日	372,139						
		災害収入共済方式	11月 26日	3,437,716						
		計		3,809,855	0	3,809,855	0	0	0	100.0
	合 計			196,343,032	0	42,619,886	153,723,146	0	0	100.0

(損害防止)

水稻共済加入者を対象に、有害獣対策用捕獲檻の貸出、イノシシ等侵入防止施設設置資材助成、スクミリンゴガイ防除用薬剤購入助成を実施した。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

区分 \ 項目		有資格 頭 数	事業計画 頭 数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴 収 共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
死亡 廃用 共済		頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円
	搾 乳 牛	14, 171	14, 101	15, 827	112. 2	5, 766, 277	214, 637, 829			
	繁 殖 用 雌 牛	10, 279	4, 884	5, 260	107. 7	1, 581, 027	15, 926, 056			
	育 成 乳 牛 (子 牛 等)	7, 801	7, 736 (822)	7, 943 (1, 267)	102. 7	2, 254, 897	19, 137, 284			
	育 成 ・ 肥 育 牛 (子 牛 等)	36, 008	28, 758 (3, 806)	29, 171 (5, 487)	101. 4	7, 036, 447	74, 170, 859			
	育 成 ・ 肥 育 馬	1	1	1	100. 0	199	1, 270			
	種 豚	4, 128	0	0	0. 0	0	0			
	肉 豚	31, 671	0	0	0. 0	0	0			
計		104, 059	55, 480	58, 202	104. 9	16, 638, 847	323, 873, 298			
疾病 傷 害 共 済	乳 用 牛	21, 909	15, 083	15, 907	105. 5	434, 054	123, 348, 007			
	肉 用 牛	45, 236	18, 278	20, 063	109. 8	216, 168	44, 871, 662			
	一 般 馬	1	1	1	100. 0	11	2, 833			
	種 豚	4, 128	0	0	0. 0	0	0			
	計	71, 274	33, 362	35, 971	107. 8	650, 233	168, 222, 502			
合計		175, 333	88, 842	94, 173	106. 0	17, 289, 080	492, 095, 800	0	491, 703, 110	983, 798, 910

() 内は、子牛等で内数
引受実績は期首引受のみ

引受の概況

ア 死亡廃用共済の引受農家数は、1, 184戸（搾乳牛193戸、繁殖用雌牛325戸、育成乳牛185戸、育成・肥育牛480戸、育成・肥育馬1戸）で、前年比51戸（搾乳牛7戸、繁殖用雌牛9戸、育成乳牛15戸、育成・肥育牛20戸）減少した。

疾病傷害共済の引受農家数は、704戸（乳用牛206戸、肉用牛497戸、一般馬1戸）で、前年比19戸（乳用牛7戸、肉用牛12戸）減少した。

イ 死亡廃用共済の引受頭数は、58, 202頭で、前年比2, 463頭増加した。疾病傷害共済の引受頭数は、35, 971頭で、前年比1, 674頭増加した。

ウ 死亡廃用共済の共済金額は、16, 638, 847千円で、前年比4, 081, 137千円増加した。疾病傷害共済の共済金額は、650, 233千円で、37, 814千円増加した。

(事 故)

区分 \ 項目	死亡廃用共済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
	頭	頭	頭	円
搾 乳 牛	747	798	1,545	468,274,062
繁 殖 用 雌 牛	73	47	120	29,739,927
育 成 乳 牛 (子 牛 等)	360 (309)	18	378	36,240,496
育 成 ・ 肥 育 牛 (子 牛 等)	1,254 (1,096)	54	1,308	207,255,829
育 成 ・ 肥 育 馬	0	0	0	0
計	2,434	917	3,351	741,510,314

()内は、子牛等で内数

区分 \ 項目	疾病傷害共済	
	件 数	支払共済金
	件	円
乳 用 牛	25,347	337,782,166
肉 用 牛	14,264	137,053,891
一 般 馬	1	10,734
計	39,612	474,846,791

事故発生の概況

ア 死亡廃用共済

死亡廃用事故頭数は3,351頭（搾乳牛1,545頭、繁殖用雌牛120頭、育成乳牛378頭、育成・肥育牛1,308頭）で、前年比56頭増加した。

支払共済金は741,510,314円で、前年比204,393,882円増加した。

イ 疾病傷害共済

病傷事故件数は39,612件（乳用牛25,347件、肉用牛14,264件）で、前年比3,395件増加した。

支払共済金は474,846,791円で、前年比27,012,609円増加した。

(損害防止)

実 施 種 目		対象頭数 又は戸数		経 費 概 算	摘 要
特定損害防止		頭 4,662		円 19,844,490	実施期間 令和2年6月～令和3年1月 重点事項 繁殖障害・周産期疾患・乳房炎・運動器疾患
一 般 損 害 防 止	代謝プロファイル テスト (健康検査)	乳 牛	163 頭	4,913,308	重点事項 血液生化学的検査 血液理学的検査 飼養管理改善指導
		肉 牛	36 頭		
	繁 殖 管 理 (繁殖検診)	乳 牛	908 頭	984,698	重点事項 繁殖成績改善 繁殖障害防除
		肉 牛	239 頭		
	乳質改善	乳 牛	0 頭	0	重点事項 乳房管理（体細胞数の改善） 搾乳手技改善指導 乳汁細菌感受性検査
		肉 牛	0 頭		
	その他の 農家指導	乳 牛	0 頭	0	重点事項 バーンミーティング等 （牛舎内での飼養管理の検討等）
		肉 牛	1 頭		
	ワクチネーション	乳 牛	8,576 頭	515,400	重点事項 乳牛・肉用牛の異常産予防 肉用牛の呼吸器疾患予防
		肉 牛	8,646 頭		
	予防衛生措置	乳 牛	206 戸	4,218,148	重点事項 第1胃疾患の予防、子牛の下痢予防 消化器疾患の予防、繁殖障害の予防 運動器疾患の予防、尿石症の予防 低カルシウム血症の予防等
		肉 牛	342 戸		
計				10,631,554	
合計				30,476,044	

(診 療 所)

診 療 所 名	職 員 数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格 頭 数	加入頭数	共済事故	事故外	一 般	特 損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭	頭	円	
生 産 獣 医 療	6	2,773	1,851	1,402	502	1,703	695	2,648,966	
南 部	3	9,419	1,256	1,310	664	1,198	493	2,283,898	
西 部 基 幹	6	18,017	9,122	2,991	1,080	2,730	681	4,218,074	
西 部	4	11,022	5,391	1,740	685	2,255	540	3,452,977	
蒜 山	5	5,224	3,866	3,502	1,163	1,940	521	3,031,332	
北 部 基 幹	11	24,819	14,485	6,468	2,390	8,743	1,732	10,622,649	
合 計	35	71,274	35,971	17,413	6,484	18,569	4,662	26,257,896	

前 年 度 実 績	38	50,466	34,393	20,078	4,436	22,127	5,823	30,396,946	
増 減	△ 3	20,808	1,578	△ 2,665	2,048	△ 3,558	△ 1,161	△ 4,139,050	

1. 有資格頭数、加入頭数に肉豚及び胎児は含まない。
2. 損害防止実施頭数は延頭数
3. 職員数は令和3年3月31日現在

(3) 果樹共済関係
(引 受)

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和元年度 (令和2年産)	ぶどう		人	a	円	円	円	
		半相殺減収総合一般方式	186	3,244.7	284,021,000	1,458,227	1,063,180	
		半相殺減収総合短縮方式	27	528.8	42,724,000	193,855	136,302	
		災害収入共済方式	121	3,189.3	237,137,000	1,208,384	625,549	
		樹園地減収総合一般方式	23	584.8	41,053,000	174,434	151,620	
		樹園地減収総合短縮方式	2	52.0	4,558,000	11,978	11,172	
		計	359	7,599.6	609,493,000	3,046,878	1,987,823	5,034,701
	もも	半相殺減収総合一般方式	6	181.0	9,811,000	189,491	105,293	
		半相殺減収総合短縮方式	42	1,185.5	45,942,000	561,134	373,435	
		災害収入共済方式	4	136.0	4,006,000	88,045	△ 31,792	
		樹園地減収総合短縮方式	9	278.6	9,161,000	81,202	64,462	
		計	61	1,781.1	68,920,000	919,872	511,398	1,431,270
	合計		420	9,380.7	678,413,000	3,966,750	2,499,221	6,465,971
令和2年度 (令和3年産)	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	162	2,758.1	252,430,000	1,259,093	918,886	
		半相殺減収総合短縮方式	31	667.2	61,601,000	291,404	195,023	
		災害収入共済方式	89	2,265.9	172,723,000	868,447	448,649	
		樹園地減収総合一般方式	14	260.9	19,849,000	64,492	55,746	
		樹園地減収総合短縮方式	3	126.5	11,504,000	39,615	36,941	
		計	299	6,078.6	518,107,000	2,523,051	1,655,245	4,178,296
	もも	半相殺減収総合一般方式	5	160.7	9,992,000	186,862	109,263	
		半相殺減収総合短縮方式	26	589.4	28,632,000	335,535	223,287	
		災害収入共済方式	3	92.5	2,674,000	59,846	△ 21,617	
		樹園地減収総合短縮方式	6	282.7	10,455,000	91,373	72,545	
		計	40	1,125.3	51,753,000	673,616	383,478	1,057,094
	合計		339	7,203.9	569,860,000	3,196,667	2,038,723	5,235,390

引受の概況 (令和3年産)

引受戸数はぶどうで299戸、前年対比で83.3% (60戸減)、ももで40戸、前年対比65.6% (21戸減)、引受面積はぶどうで6,078.6a、前年対比80.0% (1,521.0a減)、ももで1,125.3a、前年対比63.2% (655.8a減) であった。

(被 害)

年産	果樹区分		被 組 合 員	害 数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
令和 2年産	ぶ ど う			人	円	%
		半相殺減収総合一般方式		8	2,110,020	0.7
		半相殺減収総合短縮方式		0	0	0.0
		災害収入共済方式		6	1,170,236	0.5
		樹園地減収総合一般方式		1	98,260	0.2
		樹園地減収総合短縮方式		0	0	0.0
		計		15	3,378,516	0.6
	も も	半相殺減収総合一般方式		1	458,040	4.7
		半相殺減収総合短縮方式		0	0	0.0
		災害収入共済方式		0	0	0.0
		樹園地減収総合短縮方式		0	0	0.0
		計		1	458,040	0.7
	合計			16	3,836,556	0.6

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
ぶどう	前年度対比(%)	41.7	25.1
	1組員当たり(円)		225,234

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
もも	前年度対比(%)	50.0	191.1
	1組員当たり(円)		458,040

被害の概況

(ぶどう)

6月中旬の多雨と開花時期が重なった地域で花ぶるいが発生し、着果数の減少や房形が悪いなどの被害が発生した。また、梅雨の長雨、その後の高温乾燥による房枯れ、8月の夜温が高く推移したことによる高温障害(着色不良)、台風10号による風害が発生した。カイガラムシによる虫害、カラスによる鳥害、イノシシ・サルによる獣害も発生した。

(もも)

開花期にあたる4月上旬が低温で推移し、一部園地で結実不良が発生した。梅雨入り後の多雨により核割れを起因とする変形果やエゴ抜け(果梗離脱)が発生した。また、せん孔細菌病、カメムシや夜蛾の吸汁による虫害、カラスによる鳥害、イノシシやサルによる獣害が発生した。

前年度実績 参考

		被害組員数	共済金	保険金
ぶ ど う		人	円	円
	半相殺減収総合一般方式	6	1,132,400	
	半相殺減収総合短縮方式	0	0	
	災害収入共済方式	29	12,238,368	
	樹園地減収総合一般方式	1	65,130	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
	計	36	13,435,898	8,512,072
も も	半相殺減収総合一般方式	0	0	
	半相殺減収総合短縮方式	2	239,700	
	災害収入共済方式	0	0	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
	計	2	239,700	0

(支 払)

果樹区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
				保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	共 済 金
ぶどう			円	円	円	円	円	円	%
	半相殺減収総合 一般方式	12月8日	2, 110, 020	0	2, 110, 020	0	0	0	100. 0
	半相殺減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	災害収入 共済方式	2月26日	1, 170, 236	0	1, 170, 236	0	0	0	100. 0
	樹園地減収総合 一般方式	12月8日	98, 260	0	98, 260	0	0	0	100. 0
	樹園地減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		3, 378, 516	0	3, 378, 516	0	0	0	100. 0
も も	半相殺減収総合 一般方式	12月8日	458, 040	0	294, 784	163, 256	0	0	100. 0
	半相殺減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	災害収入 共済方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	樹園地減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		458, 040	0	294, 784	163, 256	0	0	100. 0
合 計			3, 836, 556	0	3, 673, 300	163, 256	0	0	100. 0

(損害防止)

加入園を対象に土壌分析をして土壌診断処方箋を作成し、組合員に配布した。また、病虫害発生予察、気象情報、技術情報を支所等へ情報伝達した。

(4) 畑作物共済関係
(引 受)

項目 畑作物区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済 掛金（A）	交付金又は 納入保険料（B）	手持共済掛金 （A） ± （B）
大豆 半相殺・一筆方式	人 509	a 17,049.6	円 101,789,665	円 5,848,000	円	円
大豆 全相殺方式	16	2,256.6	9,065,550	316,585		
大豆 地域インデックス方式	1	50.6	375,498	8,944		
計	延 526	19,356.8	111,230,713	6,173,529		
	実 505					
秋植えばれいしょ 全相殺方式	実 7	115.0	1,752,935	89,131		
計	実 7	115.0	1,752,935	89,131		
合 計	延 533	19,471.8	112,983,648	6,262,660	3,938,171	10,200,831
	実 512					

共済目的	事項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金
大 豆	前年度対比 (%)	106.5	97.0	98.3	102.1	円	円
	事業計画対比 (%)	—	92.6	91.6	95.3		
秋植えばれいしょ	前年度対比 (%)	77.8	81.6	73.7	80.9		
	事業計画対比 (%)	—	76.7	69.3	76.2		
合 計	前年度対比 (%)	106.0	96.9	97.8	101.7	103.0	102.2
	事業計画対比 (%)	—	92.5	91.2	95.0	101.2	97.3

引受の概況

(大豆)

引受戸数は、505戸（前年対比31戸増）となり、引受面積は、19,356.8a（前年対比592.6a減）となった。引受方式の選択状況は一筆方式を選択された農業者が約8割を占め、半相殺方式、全相殺方式、地域インデックス方式は約2割程度であった。白大豆（1類）については、引受戸数は前年対比17戸減少、引受面積は前年対比で717.6a減少し、黒大豆（2類及び6類）については、引受戸数・引受面積共に前年対比で9戸、125a増加した。

(秋植えばれいしょ)

引受戸数は7戸で、引受面積は115.0aとなり、引受戸数は前年対比2戸減少し、引受面積は前年対比で26a減少した。

(被 害)

項目 畑作物区分	被害組合員数	共済金	共 済 金 共済金額
	人	円	%
大豆 半相殺・一筆方式	195	18,483,147	18.2
大豆 全相殺方式	8	538,929	5.9
大豆 地域インデックス方式	0	0	0.0
計	203	19,022,076	17.1
秋植えばれいしょ 全相殺方式	2	52,271	3.0
計	2	52,271	3.0
合 計	205	19,074,347	16.9

被害の概況

(大豆)

播種期から発芽期の7月上旬から下旬にかけての多雨で土壌水分が過剰になり、発芽不良及び根部の機能障害が発生した。また、8月上旬から9月上旬にかけての極端な高温・乾燥により、干害が発生し着莢不良が発生した。一部山間部においてはイノシシ・シカ・サル・ウサギ等の獣害が発生した。

(秋植えばれいしょ)

8月下旬から9月上旬が高温で推移したため、土中で種芋が腐敗し、萌芽不良が発生した。また、萌芽したものについても、高温により虚弱となり生育不良が発生した。

(支 払)

項目 畑作物区分	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手 持 掛 金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
		円	円	円	円	円	円	%
大豆 半相殺・一筆方式	3月25日	18,483,147	7,124,227	9,690,761	1,668,159	0	0	100.0
大豆 全相殺方式	3月25日	538,929	149,487	378,737	10,705	0	0	100.0
大豆 地域インデックス方式	-	0	0	0	0	0	0	-
計		19,022,076	7,273,714	10,069,498	1,678,864	0	0	100.0
秋植えばれいしょ 全相殺方式	3月25日	52,271	0	52,271	0	0	0	100.0
計		52,271	0	52,271	0	0	0	100.0
合計		19,074,347	7,273,714	10,121,769	1,678,864	0	0	100.0

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
大豆	前年度対比 (%)	87.9	85.7
	1組合員当たり (円)		93,705
秋植えばれいしょ	前年度対比 (%)	66.7	25.1
	1組合員当たり (円)		26,136

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
	人	棟	m ²	千円	千円	円	円	円
ガ ラ ス 室 I 類	33	94	15,796	148,035	117,347	106,525	72,101	178,626
ガ ラ ス 室 II 類	46	118	58,809	693,308	561,766	185,579	113,131	298,710
プラスチックハウス I 類	15	39	6,351	37,666	30,238	77,832	57,445	135,277
プラスチックハウス II 類	961	2,397	853,642	1,571,923	1,267,380	10,356,701	2,737,405	13,094,106
プラスチックハウス III 類	75	121	112,438	701,221	565,192	1,411,770	953,297	2,365,067
プラスチックハウスIV類甲	58	87	67,324	307,029	252,241	507,990	330,241	838,231
プラスチックハウスIV類乙	11	20	19,601	300,506	284,510	559,831	284,349	844,180
プラスチックハウス V 類	36	46	38,731	297,425	246,460	176,933	109,869	286,802
プラスチックハウス VI 類	140	907	182,764	265,647	207,185	1,924,261	586,978	2,511,239
プラスチックハウス VII 類	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	延 1,375	3,829	1,355,456	4,322,760	3,532,319	15,307,422	5,244,816	20,552,238

事項 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
前年度対比 (%)	115.3	112.5	113.1	122.5	126.8	116.4	108.2	114.2
事業計画対比 (%)		89.0			85.1	88.1	75.8	84.6

引受の概況

県下的に栽培農家の高齢化等による引受の減少はあるものの集団加入等を活用した加入推進による新規加入により、引受戸数は、1,375戸(前年対比182戸増)、引受棟数は、3,829棟(前年対比424棟増)、引受面積は、1,355,456㎡(前年対比156,945㎡増)となった。

(被 害)

施設区分 項目	被 害			損害の額	共 済 金						共済金
	組合員数	棟 数	附帯施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	復旧 費用	撤去 費用	施設内 農作物	合 計	共済金額
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室 I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
ガ ラ ス 室 II 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス II 類	53	71	1	4,696,364	2,717,337	132,156	0	0	1,073,184	3,922,677	0.2
プラスチックハウス III 類	1	1	0	31,971	25,576	0	0	0	0	25,576	0.1
プラスチックハウスIV類甲	4	4	0	118,822	97,600	0	0	0	0	97,600	0.1
プラスチックハウスIV類乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス V 類	1	1	0	58,826	58,825	0	0	0	0	58,825	0.1
プラスチックハウス VI 類	8	16	0	1,728,795	1,351,803	0	0	0	0	1,351,803	0.7
プラスチックハウス VII 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
合 計	67	93	1	6,634,778	4,251,141	132,156	0	0	1,073,184	5,456,481	0.1
前年度対比 (%)	89.3	100.0	50.0	106.6	100.3	64.4	—	—	344.6	112.3	—

(被害および評価の概況)

被害棟数93棟のうち、風害による被害で74棟、施設内農作物の病虫害による被害で8棟、その他の原因で11棟を支払いした。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
5,456,481	876,918	4,579,563	0	0	0	100.0

(損害防止)

加入棟を対象に土壌分析を実施し、土壌診断処方箋を組合員に配布した。

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引 受 関 係)

	加入棟数	共済金額	共済掛金			1棟当たり 平均共済金額	任意保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金	計			
	棟	千円	円	円	円	千円	円	円
農家建物	91,686	930,767,140	545,910,500	381,979,781	927,890,281	10,152	304,387,746	104,655,700
前年度対比(%)	95.7	95.6	98.5	96.4	97.7	100.0	102.5	96.6

引受の概況

引受共済金額は9,308億円で、424億円（前年度比95.6%）の減少となった。また、1戸平均は1,857万円で15万円の減少となった。

(事 故 関 係)

	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金（ロ）			任意保険金	被害率	$\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
			火災等	自然災害	計				
	棟	千円	円	円	円	円		%	
農家建物	423	930,767,140	213,764,716	7,377,697	221,142,413	65,811,650		0.02	
前年度対比(%)	130.6	95.6	93.0	67.1	91.8	91.0		100.0	

事故の概況

事故棟数は423棟で、前年対比130.6%と増加した。原因別の件数は、その他（落雷、水道管凍結等）による被害が全体の85.1%を占めた。支払共済金は、2億2,114万円で前年対比91.8%となった。

事故の原因別	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金（ロ）	任意保険金	被害率	$\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
	棟	千円	円	円		%	
火 災	31		184,445,233				
自然災害	32		7,377,697				
そ の 他	360		29,319,483				
合 計	423	930,767,140	221,142,413	65,811,650		0.02	

2. 農機具共済
(引 受 関 係)

	加入台数	共済金額	共済掛金			1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	計	
	台	千円	円	円	円	千円
農機具損害共済	7,731	16,121,110	57,163,509	23,842,019	81,005,528	2,085
前年度対比 (%)	104.7	108.3	108.6	107.9	108.4	103.4

引受の概況
加入台数は7,731台で、346台（前年対比104.7%）の増加となった。加入共済金額は161億円で、12.3億円（前年対比108.3%）の増加となった。

(事 故 関 係)

	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			接触等	自然災害	計		
	台	千円	円	円	円	%	
農機具損害共済	242	16,121,110	50,328,672	0	50,328,672	0.31	
前年度対比 (%)	114.7	108.3	144.9	0.0	107.8		

事故の概況
事故台数は242台で、前年対比114.7%と増加した。原因別の件数では、接触事故が58.6%、異物の巻き込みが21.5%を占めた。支払共済金は、5,032万円で362万円（前年対比107.8%）の増加となった。

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
	台	千円	円	%	
接触	142		18,439,617		
異物の巻き込み	52		7,879,416		
衝突	22		2,592,229		
墜落	8		8,684,542		
転覆	8		8,120,775		
獣害	4		1,036,999		
火災	3		1,985,261		
その他	3		1,589,833		
合 計	242	16,121,110	50,328,672	0.31	

3. 保管中農産物補償共済

(引 受 関 係)

	加入口数	共済金額	共済掛金			任意 保険料
			純共済掛金	賦課金	計	
	口	千円	円	円	円	円
保管中農産物	6	6,000	16,100	6,900	23,000	17,132
前年度対比 (%)	-	-	-	-	-	-

引受の概況

令和2年9月から新たに始まった共済事業で、6口の引受となった。

(事 故 関 係)

被害は発生していません。

(7) 農機具更新共済関係

(引 受 関 係)

加入台数	共済金額	共済掛金			1台当たり 平均共済金額
		純共済掛金	賦課金	計	
台	千円	円	円	円	千円
0	0	0	0	0	0

引受の概況

引受を実施していません。

(事 故 関 係)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金			被害率	備 考
			接触等・自然災害 (ロ)	期間満了に よるもの	計		
台	台	千円	円	円	円	%	
0	0	0	0	0	0	0.00	

事故の概況

引受を実施していません。

(8) 農業経営収入保険関係

(加 入 状 況)

令和2年4月～令和3年3月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	基準収入額	保険金額	積立補てん 対象金額	加入者負担 保険料	加入者負担 積立金	加入者負担 事務費
	経営体	円	円	円	円	円	円
個人経営体	626	6,102,666,334	4,319,170,082	515,104,881	43,000,183	128,776,414	12,871,221
法人経営体	99	3,755,770,936	2,656,619,462	328,138,440	26,351,662	82,034,642	6,878,367
計	725	9,858,437,270	6,975,789,544	843,243,321	69,351,845	210,811,056	19,749,588

加入状況

前期に比べて、個人228経営体、法人31経営体の計259経営体の増加となった。1経営体当たりの基準収入額は、個人経営体で約975万円、法人経営体で約3,794万円であった。また、主な対象品目は、米、麦、野菜、果樹の順となった。

(保険金等支払状況)

平成31年1月～令和元年12月に保険期間が開始した加入経営体

項目 経営体	加入 経営体	支 払 済 み			
		支払経営体数	保険金	特約補てん金	合計
	経営体	経営体	円	円	円
個人経営体	208	53	41,669,693	35,977,055	77,646,748
法人経営体	52	15	20,483,426	28,289,188	48,772,614
計	260	68	62,153,119	64,266,243	126,419,362

支払状況

制度発足初年度において、加入経営体の約26%にあたる68経営体に対して、約1億2,642万円の保険金等が支払われた。

(9) 業務関係

ア. 重要な処理事項（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和2年 4月1日	辞令交付	6月16日	農作物共済担当者会議
4月2日	新任職員講習会	6月22日	内部監査（家畜診療所 南部、西部基幹、蒜山）（～30日）
4月3日	支所長会議（第1回）	6月25日	NOSAI協会、全国連通常総会 全国組合長会議（NOSAI協会）
4月7日	収入保険に係る会議	6月26日	第4回通常総代会（農業共済会館）
4月8日	事業別講習会（～5月28日）	6月30日	果樹共済（もも）損害評価現地研修会
4月10日	広報担当者会議	7月2日	令和2年度第1回内部監査（家畜診療所、支所、本所）（～9月25日）
4月15日	園芸施設共済・任意共済担当者会議	〃	第1回岡山県農業保険推進協議会幹事会
4月17日	収入保険担当者会議	7月6日	園芸施設共済損害評価研修会
〃	家畜診療所長会議	7月7日	第4回支所長会議
4月21日	第1回監事会	7月8日	全国参事会議
4月22日	全国広報参事等会議	7月9日	第1回西日本地区参事交流会議
4月23日	岡山県農業保険推進協議会設立総会	7月10日	保管中農産物補償共済に係る担当者説明会
〃	収入保険に係る会議	7月15日	令和3年度事務職員採用2次試験（第1次募集）
4月24日	決算監査（本所・全支所・全診療所）（～5月28日）	7月17日	家畜診療所長会議
4月30日	臨時監査（本所：会計）	〃	農作物共済担当者会議
〃	支所長会議（第2回）	7月27日	損害評価会園芸施設共済部会・任意共済部会
5月8日	獣医師随時募集採用試験	〃	農林水産省主催農業保険外交員研修会
5月21日	令和2年産麦見回り調査	7月31日	第2回理事会
5月25日	臨時監査（総務課）	8月4日	果樹共済（ぶどう）損害評価研修会
5月27日	共済新聞普及に係る中国ブロック会議	8月5日	広報担当者会議
6月1日	辞令交付	8月7日	第5回支所長会議
6月4日	広報担当者会議	8月11日	損害評価会麦共済部会（一筆・半相殺方式）
6月7日	令和3年度採用事務職員試験（第1次）	8月17日	中国地区広報担当者会議（前期）
6月9日	支所長会議（第3回）	8月25日	令和3年度獣医師職員採用試験
6月10日	第1回理事会	8月26日	ネットワーク担当者会議
6月12日	建物共済落雷損害評価研修会	8月27日	職員研修会（コンプライアンス、情報セキュリティ、収入保険）（～8月31日）
〃	園芸施設共済推進会議（農水省）	9月3日	「農業共済をめぐる情勢について」の役員説明会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和2年 9月4日	令和2年度第1回任意共済事業推進担当者会議	11月18日	損害評価会麦（災害収入共済方式）共済部会
9月8日	第6回支所長会議	11月24日	「安心の未来」拡充運動全国NOSA I 大会
9月9日	岡山県常例検査（現物検査）	11月25日	令和3年度予算要請運動
9月15日	農作物共済担当者会議	〃	家畜診療中国四国地区別発表会等（～26日）
9月25日	水稻中生品種に係る作柄検討会	11月27日	農作物共済担当者会議
9月28日	農水省主催 収入保険事業研修会	11月30日	損害評価会果樹（半相殺・樹園地）共済部会
10月6日	NOSAI協会・全国連理事会、全国連臨時総会、全国組合長会議	〃	建物共済損害評価技術研修会（～12月4日）
〃	岡山県常例検査（支所）（12日）	12月1日	診療担当職員研修会（～3日）
10月8日	第7回支所長会議	12月7日	建物共済専門講習会（～11日）
10月9日	令和2年度（第45回）任意共済全国研修会	12月8日	第9回支所長会議
10月14日	第2回全国参事会議	12月9日	農水省主催経理研修会
〃	中間監査（～30日）	12月11日	園芸施設共済担当者会議
10月15日	第2回西日本地区参事交流会議	12月14日	損害評価会農作物共済部会、家畜共済部会
10月19日	岡山県常例検査（本所）（～29日）	〃	システム運用管理者養成研修会（～15日）
〃	広報技術研修会（～23日）	12月17日	内部監査（家畜診療所）（～24日）
10月20日	事務職員採用2次試験	12月18日	令和2年度「安心の未来」拡充運動全国推進会議
10月29日	第3回理事会	12月21日	第4回理事会、第3回監事会
10月30日	農業保険の加入推進に係るテレビ会議（農業共済団体）	12月22日	獣医師採用試験
11月4日	農業保険の加入推進に係るテレビ会議（関係機関）	12月23日	NOSAI協会・全国連理事会
11月5日	家畜診療所長会議	12月24日	第2回任意共済事業推進担当者会議
〃	上級管理職研修会（～6日）	令和3年 1月13日	第10回支所長会議
11月6日	NOSAI協会理事会、全国連理事会・臨時総会	1月14日	内部監査（本所、支所）（～3月8日）
11月9日	中国四国地区事務機械化情報交換会	〃	園芸施設共済の推進等に関するテレビ会議（農水省）
11月10日	第8回支所長会議	1月18日	第4回監事会
〃	令和2年度農水省主催法令等研修	〃	収入保険担当者会議
11月16日	獣医師中堅講習会（～18日）	1月19日	岡山県随意検査（～2月1日）

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
令和3年 1月20日	第5回臨時総代会	3月9日	第12回支所長会議
1月25日	都道府県農業保険担当者及び農業共済組合総務・指導担当者会議	3月10日	第6回理事会
1月27日	任意共済担当者会議	3月12日	令和3年度事務費賦課承認事前協議（県組合指導課）
1月28日	火災共済支払査定研修会（基礎）	3月15日	損害評価会畑作物共済部会
2月2日	第5回理事会	3月18日	コンプライアンス研修（ビデオ視聴）（～30日）
2月3日	農水省主催農作物・畑作物共済研修会	3月19日	広報事業担当者会議
2月4日	家畜診療所長会議	3月19日	NOSAI情報化全国会議
2月5日	火災共済支払査定研修会（実践）	3月19日	損害評価会農作物共済部会
2月9日	第11回支所長会議	3月22日	中国地区農作物共済担当部課長テレビ会議
2月10日	令和3年度事業推進個別会議（～2月22日）	3月23日	未収金等債権管理委員会
2月12日	損害評価会農作物共済部会	3月24日	NOSAI協会理事会・臨時総会、全国連臨時総会、全国組合長会議
2月15日	農水省主催家畜共済研修会	3月24日	農作物共済担当者会議
2月16日	全国広報委員会会議	3月26日	第3回任意共済事業推進担当者会議
2月16日	農業共済新聞全国研修集会	3月29日	中国地区参事会議（～30日）
2月16日	農水省主催家畜共済研修会	3月31日	辞令交付
2月16日	事務職員採用2次試験		
2月17日	第3回全国参事会議		
2月17日	中国地区広報担当者会議（後期）		
2月19日	損害評価会果樹共済（災害収入共済方式）部会		
2月24日	家畜共済事業担当者会議		
3月4日	家畜診療所運営委員会、損害評価会家畜共済部会		
3月4日	農業保険推進協議会第3回幹事会		
3月5日	NOSAI協会理事会、全国連理事会		
3月8日	農業保険推進協議会第3回総会		

イ 総 代 会

(ア) 第4回通常総代会（令和2年6月26日）

総代会日現在総代数	128人
本人出席	13人
代理出席	0人
書面出席	103人
出席者計	116人

重要な議事及び議決事項

第1号議案 令和元年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び
剰余金処分案（不足金処理案）の承認について

第2号議案 令和2年度事業計画、業務収支予算案及び家畜診療所収支予算案
の承認について

第3号議案 令和2年度事務費賦課金の徴収額及び徴収方法について

第4号議案 特別積立金の取崩しについて

第5号議案 役員報酬額及び損害評価会委員、損害評価員、共済連絡員並びに
家畜診療所運営委員手当額について

第6号議案 定款の一部改正について

第7号議案 事業規程の一部改正について

第8号議案 令和2年度借入金の最高限度額及び借入先について

第9号議案 令和2年度余裕金預入先について

第10号議案 損害評価会委員の選任について

第11号議案 実施体制の改善計画について

第12号議案 保管中農産物補償共済実施に伴う全国農業共済組合連合会との
保険契約について

第13号議案 職員給与規則の一部改正について

附帯決議

(イ) 第5回臨時総代会（令和3年1月20日）

総代会日現在総代数	126人
本人出席	12人
代理出席	0人
書面出席	109人
出席者計	121人

重要な議事及び議決事項

第1号議案 事業規程の一部改正について

第2号議案 農作物共済危険段階別共済掛金率の設定について

第3号議案 園芸施設共済危険段階別共済掛金率の設定について

第4号議案 損害評価会委員の選任について

附帯決議

ウ 組合員の増減

(人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増減	摘要
61, 129	57, 042	-4, 087	年度始組合員数は年度当初の加入者である。

エ 役職員その他

(ア) 役職員

(人)

役員数		理事		監事		合計			
		16		3		19			
職員数	部署 性別	参事	総務部	事業部	家畜部	支所	生産獣医療支援センター 及び家畜診療所	監査室	計
	男	1	7	12	6	71	27	2	126
	女	0	8	5	1	38	16	0	68
	計	1	15	17	7	109	43	2	194

※役員は非常勤のみ

※臨時・嘱託職員を含む

(イ) 職員勤務場所

(人)

性別	配属	本所	支所	生産獣医療支援センター 及び家畜診療所	計
男		28	71	27	126
女		14	38	16	68
計		42	109	43	194

オ 総代、損害評価会委員、損害評価員、共済連絡員

(人)

総代	損害評価会委員	損害評価員	共済連絡員
126	403	3, 476	2, 195